

産業活性化の切り札＝デザイン ～デザインが企業を元気にする～

県内企業において、「デザイン（ブランド化や消費者を惹きつけるストーリーブレイクといったプロデュース的な要素を含んだ広義のデザイン）」の重要性を認識し、自社のビジネス戦略のなかにデザインを取り入れたいと考えている企業が増えつつあります。しかし、実際には具体的な商品のデザインから企業の戦略的な理念作りまで、デザインが関わる業務は様々です。見た目の美しさなど審美性の「見えるデザイン」だけでなく、これからは総合的な視点で企業のニーズを見渡すことが重要で、企業の経営状況や取り巻く企業環境まで考える「見えないデザイン」が必要とされるのではないかでしょうか？

当講座では「産業活性化の切り札＝デザイン」を共通テーマに、1.アジアCIの父と称される中西元男氏（戦略経営デザインコンサルタント）、2.国内大手企業から愛媛県内事業者まで幅広いデザイン活動をされている薬師神親彦氏（グラフィックデザイナー）、3.国内企業のブランディングコンサルティングを行う荻原実紀氏（ブランド戦略コンサルタント）による3週連続（日曜日開催）セミナーを開催し、企業理念から商品開発、販売促進といった様々な事例を紹介しながら、皆様と企業を元気にするデザインについて考えます。

10月28日（日）

第1回 講師 中西 元男

戦略経営デザインコンサルタント

- 基調講演（13:00～14:30）
- ミニパーティ（14:40～16:10）

11月4日（日）

第2回 講師 薬師神 親彦

グラフィックデザイナー

- 講演（13:00～14:30）
- ワークショップ（14:40～16:10）
- ビジネスデザイン（16:20～17:30）クリニック

11月11日（日）

第3回 講師 荻原 実紀

ブランド戦略コンサルタント

- 講演（13:00～14:30）
- ワークショップ（14:40～16:10）

開演 **13:00** 開受付 **12:30～**

入場 無料（要申込）

第1回ミニパーティのみ有料

申込登録を行いますので、各回前日までに必ずお申し込みください。当日、申込がない場合は入場出来ない場合があります。定員になり次第締めきらせていただきますのでお早めにお申し込みください。

会場 学校法人山本学園 松山デザイン専門学校 辻町校舎6階大ホール

〒790-0063 松山市辻町1-33 TEL:089-925-6213

※会場には駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。（JR松山駅より徒歩5分）

主催：公益財団法人えひめ産業振興財団 後援：愛媛県

実施・運営：学校法人山本学園 松山デザイン専門学校

協力：エヒメデザイン協会、EPA 愛媛写真家協会、アドクリエーターズ愛媛
JAGDA 社団法人日本グラフィックデザイナー協会愛媛地区

申込先：えひめビジネスデザインセミナー事務局

ファックスでお申し込みの方は以下の欄にご記入の上、送信してください。
メールの方はお名前（代表者）・人数・所属・役職・ご連絡先・参加ご希望の
内容（講演・ミニパーティ・ワークショップなど）を明記ください。
定員になり次第、締め切らせていただきます。

お名前 _____

人 数 _____

参加ご希望の内容に チェックを入れてください。

ご所属・役職 _____

10/28 基調講演 ミニパーティ（参加費1000円）

ご連絡先 Tel _____

Fax _____

11/4 講演 ワークショップ ビジネスデザイン
クリニック

E-mail _____

11/11 講演 ワークショップ

参加証（入場券）は発行しません。当日、受付にてお名前を確認させていただきます。

お申し込みいただいた個人情報は適切に処理し、受付名簿の作成、申込の御確認が必要となった際のご連絡に使用させていただきます。



Fax:089-923-9888
E-mail:sano@yamamoto.ac.jp

第1回

10月28日（日） 中西 元男

Nakanishi Motoo

戦略経営デザインコンサルタント

PAOS グループ（東京・上海）代表

エヒメデザイン協会 特別顧問

桑沢デザイン研究所 客員教授（STRAMD 主宰講師）

早稲田大学社会連携研究所 招聘研究員

上海 复旦大学 客員教授



桑沢デザイン研究所を経て早稲田大学卒。1968年 株式会社 PAOS 設立。経営者に理解されるデザイン理論・手法の開発をテーマに研究と実践を重ね、NTT、ベネッセ、INAX、日本生命、東レ、伊藤忠、日産、早稲田大学ほか、約100社の戦略CI・ブランド&事業戦略デザインを手掛ける。
1998～2000年 Gマーク民営化時の総合審査委員長として制度改革と経営立て直しを推進。
2000年 株式会社ワールド・グッドデザイン設立。
2010年4月～ニュービジネススクール「STRAMD（戦略経営デザイン人材育成）」主宰。

part1 基調講演（13:00～14:30）

「戦略経営デザインと企業経営の人間化」

定員
200名

経済の三重苦四重苦と言われる中で、大きな変革期に入った日本。しかし、このピンチは見方によっては次なる変革への大きなチャンスかもしれない。特に、デザインという分野が持つ可能性と、分野を超えていく融通無碍（ゆうづうむげ）性への期待は大きい。次なる時代を考えるべき政治をはじめとするあらゆる分野が近視眼的な対症療法策で右往左往する中にあって、デザインは次代に対する一つの光明とも私は考えている。ただし、この場合のデザインとはいわゆる目に見える表現面だけを指すものではない。デザインの独自価値を活かす上で、確かに造形表現者は切り札的に重要な役割を担うが、これまでの私の経験から言って、思想や哲学を出発点としない表現は、単なる表層的処理であり受注産業的便利屋の域を出ない。ともすれば作家作品主義や一品性の価値の追求に走ってしまう現状デザイン界の有り様は、むしろデザイン本来が持つ大きな可能性や展開力の芽を摘み取ってしまっているのではないだろうか。その意味で、いわゆる職能的デザイナーだけで狭量に考えるよりは、デザインの活かし方そのものをデザインしていく多くの人々、すなわちデザイニストたちを幅広く巻き込み、共にこの問題を考えていくべきと思っている。

STRAMD（ストラムド）という人材育成講座の創設も、そうした時代の要請と自認している。「読み書きそろばん、そしてデザイン」の時代となり、「知力+体力+感性力」の総合力が次代の価値を創る今、もう一度、長期的・戦略的な視野に立ってデザインの役割を見直し、新しく将来へのメスを入れるべきではなかろうか。

今回のレクチャーではそのような問題提起をし、デザインを核に次なる展開を図るきっかけの場をみなさまと共有できればと望んでいる。

part2

（14:40～16:10） 講師を囲んで参加者の皆さんと自由なQ&Aでご歓談ください。
「ミニパーティ＝みんなでQ&A」（ミニパーティのみ参加費1000円）

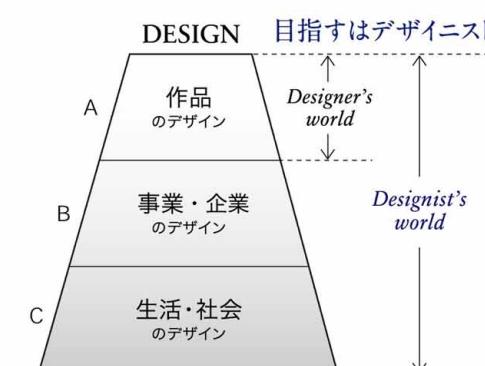
1. 新時代のデザインの使命



《デザインの新しいミッション》
人類の「秩序」と「進化」と「欲び」の創造

工業化社会型価値体系の建設的破壊と情報化
社会型価値創造こそ、デザインの新しい役割

2. デザイニストの養成と役割



美術教育の延長上ののみのデザイン教育を越え、
多分野の人々による価値創造と感動成長こそ
新しいデザイン思考《STRAMD》の目標

3. ロゴデザインディレクション代表作



第2回

11月 4日(日) 薬師神 親彦

Yakushiji Chikahiko

グラフィックデザイナー

株式会社薬師神親彦デザイン研究所代表

JAGDA社団法人日本グラフィックデザイナー協会会員

エヒメデザイン協会会員

愛媛県宇和島市在住。桑沢デザイン研究所卒業。

京王百貨店宣伝部をへて桑沢デザイン研究所講師、教育とデザインの実践、研究につとめる。その間出版社の単行本、雑誌、通信販売会社のカタログ、演劇のポスター等宣伝物、美術館ポスター・カタログ等のデザイン。トヨタ産業記念館ビジュアルディレクター。毎日新聞社誌面刷新委員会に参加。現在、丸善出版株式会社、関東学院大学出版会の出版物等のデザイン。宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会委員などを務める



part1 講演 (13:00~14:30)

「デザイナーの関わり＝社会の役割」

定員
200名

常に「教育・研究・実践」をテーマにデザイン活動に取り組み、その中でも出版関係のデザインは2000点を超える。出版における著者・編集者とデザイナー、演劇のポスター・パンフレットとデザイン、宇和島では3年前から「プラットオレンジ」等南予の柑橘類にこだわったラスク作りをしているRusk Fac.Lei aとデザイン、など40年近いデザイン活動を通じて様々なデザインの関わり＝社会の役割を考える。

part2 ワークショップ (14:40~16:10)

「紙を折る、紙を切ることにより見えてくる新しい世界」

定員
20名

ペーパーワークで学ぶデザイン思考。

手を動かし、イメージを形にすることで、デザインの考え方を学ぶ。(材料、道具は会場で用意します。)

part3 ビジネスデザインクリニック (16:20~17:30)

「企業・事業者の方を対象にしたデザイン相談コーナー」

事業者の
皆様向け

定員
20名

商品開発や販売促進などデザインに関する相談を個別に行います。

※ご希望の方は申込時に具体的に相談したい内容をお知らせください。



第3回

11月 11日(日) 萩原 実紀

Ogihara Miki

ブランド戦略コンサルタント

株式会社コトヴィア 代表取締役

企業・地域・事業・商品・個人などのブランド戦略・アイデンティティ戦略・イメージマーケティング戦略、新事業・商品開発等の立案および企画、プロデュース。

愛媛県宇和島市出身。立命館大学経済学部卒業、立命館大学院経営学研究科修了。

2003年4月～2010年3月 CI専門会社PAOSにて7年間、中西元男代表の側近で、理念・価値観やPAOSメソードのノウハウを習得しながら、企業経営におけるデザインを研究・実践。主に中堅企業のCI・ブランド戦略等の企画業務と中国事業全般に従事。

2010年4月 PAOSで同僚だったプランナー、デザイナーとともに独立し、株式会社コトヴィアを創業。「Emotional Design Power For People」の理念のもと、「人々の生活や暮らしを豊かにし、心にうるおいを与えるエモーショナルバリュー（感動価値）を創出し、幸福経済へと導くデザイン」を志向。目に見えない「本質」や「心」、「文化」などを大切にしながら、価値を創り出し、新しい息吹を与えることを専門としている。(実績分野：教育・金融・医療・流通・食品・化粧品・IT・メーカー他。)

文化経済研究会会員、東京愛媛クラブ会員、日本経営道協会会員、関東愛媛県人会青年部いよかん党前副代表など。



part1 講演 (13:00~14:30)

「想いをカタチにするデザイン」～Emotional Design Power for People～

定員
200名

“感性の時代”人々の幸せや喜び、共感といった精神的な充足を追求する消費行動へと進化しています。個々人の生き方や価値観が多様化し、少子高齢社会や高度情報通信社会など、時代の価値観は大きく転換する最中にあります。一方、日本には独自のすばらしい文化と優れた技術力・美意識があり多くの可能性を秘めながら、良い商品・意義ある活動がうまく伝わっていない実態や、世代交代により価値認識の転換が求められている分野が多いです。

これからの時代を見据え、企業・事業・商品などの新生・再生・活性を目的とし、どのようにして、デザイン思想とデザインの持つ力を活かし、本質的な価値や魅力を引き出し、人々の心に響くよう発信していくかを考えます。

愛媛県の事業者の具体的な事例として、私どもがサポートさせて頂いた宇和島信用金庫（うわしん）の2年におよぶブランド化CIプロジェクトを紹介します。理念開発からビジュアル・デザインに至るまで、職員の方とチームを組んでプロジェクトを実行しました。前 高川理事長の「卒業論文を作りたい」「格好良くなくても良い、垢抜けしなくても良い。要は地域もお客様も職員も誰もが自然に受け入れることのできるブランド化を、全職員で徹底的に悩み考え、思いのこもったブランドをつくり上げたい」との強い志と覚悟に始まり、「元気な地域・元気な金庫・元気な私」をスローガンに、全職員参加型で「うわしんの心（CI）」を創り上げました。そして、その思いは現 村尾理事長へと継承され、地域とそこに生きる人々と密着した金融機関として、うわしんの心を大切に実践しようと取り組んでいます。

part2 ワークショップ (14:40~16:10)

「デザインシンキング＝想いを具現化し、カタチにするプロセスを語り合います。」

定員
20名

商品を上手く伝えたい・広めたい、素敵なデザイン、ネーミングにしたい・新しい時代に沿った真の価値を創りたいなど、熱い思いや問題意識を持つ事業者、また、ブランドや商品開発のご担当者を対象とします。

前半の講演内容をヒントに、自社の課題と照らし合わせながら、何を目指し、どのように解決していくか、グループディスカッションと簡単なワーキングをしながら、目指すイメージを描いて行く。さらに、参加者で意見交換を行ないます。

※CI、ブランド戦略、商品開発、デザイン開発等、ご相談がございましたら、ワークショップ後にお気軽にご相談ください。

